

文字検索くん (MojiGrep) [Ver 3.19]

このツールは、指定したフォルダ以下にあるWord,Excel,PowerPointファイルに対して、指定した複数の検索語を検索し、詳細な場所を表示します。

(1)はじめに

文字検索くんはVBAを含んだExcelファイル(.xlsm)です。
ご使用いただくためは、文字検索くん.xlsmのプロパティを開いてブロック解除を行う必要があります。
→「(5)初期設定：ブロックの解除」の章を御覧ください

(2)特徴

- 特徴1：指定した検索語がどこにあるのかを詳細に表示します。特にWordファイルの場合は検索語が存在する章も表示します。
- 特徴2：図形内の文字やコメントに対しても検索します。
- 特徴3：検索オプションとして、下記2つを用意しています。これによってより正確に検索したい文字のみを結果に表示できます。
 - ・大文字・小文字、半角・全角を区別する [あいまい検索をしない]
 - ・検索語が数字の場合、検索語の数字に隣接する文字が数字なら結果から除外する
- 特徴4：検索結果の任意の行をダブルクリックすることでファイルの該当箇所へジャンプします。
- 特徴5：Excelマクロ有効ブックファイルであるため、ExcelがインストールされているPCならすぐに使うことができます。
また、Excel標準機能であるフィルタ機能を使用して、実行結果を整理することができます。
- 特徴6：Excel標準機能の「値で検索」では非表示セルに対して検索できませんが、「文字検索くん」では検索できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	検索語行番号	検索語	パス名	ファイル名	章番号/シート名/シェイプ名	ページ	行/セル番号	値	
2	1	123	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	17	1123	
3	1	123	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	18	34512351	
4	1	123	サンプルデータ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A5	123XYZ	
5	1	123	サンプルデータ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A7	123XYZ	
6	1	123	サンプルデータ	sample1.xlsx	(Sheet2)	-	C4	123	
7	1	123	サンプルデータ	sample1.csv	sample1	-	C4	123	
8	1	123	サンプルデータ	sample1.txt	sample1	-	3	123	
9	1	123	サンプルデータ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	2,3	1235	
10	1	123	サンプルデータ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	1,3	123	
11	1	123	サンプルデータ	sample1.pptx	Rectangle 6(ID:7)	3	1	123	
12	2	ABC	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	13	ABC	
13	2	ABC	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	14	abc	
14	2	ABC	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	15	abC	
15	2	ABC	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	9(コメント)	XYZABC [対象文:文文文文文文文文文文文文文文文文文文]	
16	2	ABC	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	11(コメント)	Abc<大文字・小文字区別> [対象文:さしすせそ]	
17	2	ABC	サンプルデータ\サブフォルダ	sample1.docx		1	1	ABCサブフォルダ以下のファイルに対しても検索可能です	
18	2	ABC	サンプルデータ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A9(図形)	ABCEFG	
19	2	ABC	サンプルデータ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A14(コメント)	12ABC3456 [対象文:コメントあり]	
20	2	ABC	サンプルデータ	sample1.xlsx	(Sheet2)	-	B3	abc	
21	2	ABC	サンプルデータ\サブフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	B2	1ABCサブフォルダ以下のファイルに対しても検索可能です	
22	2	ABC	サンプルデータ	sample1.csv	sample1	-	D5	ABC	
23	2	ABC	サンプルデータ	sample1.txt	sample1	-	4	ABC	
24	2	ABC	サンプルデータ	sample1.pptx	Title 1(ID:2)	1	1	ABC<1>	
25	2	ABC	サンプルデータ	sample1.pptx	Title 1(ID:2)	1	2	ABC<2>【仕様1】	
26	2	ABC	サンプルデータ	sample1.pptx	Subtitle 2(ID:3)	1	1	abcDEF	
27	2	ABC	サンプルデータ	sample1.pptx	Comment(ID:0)	2	4,4	ABC	
28	2	ABC	サンプルデータ	sample1.pptx	Comment(ID:0)	2	4,4	Abc<大文字・小文字チェック>	
29	2	ABC	サンプルデータ	sample1.pptx	Rectangle 5(ID:6)	3	1	ABCDE	
30	2	ABC	サンプルデータ\サブフォルダ	sample1.pptx	Title 1(ID:2)	1	1	ABCサブフォルダ以下のファイルに対しても検索可能です	
31	3	あいう	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	10(表1,1)	あいうえお	
32	3	あいう	サンプルデータ	sample1.docx	6 広島	3	10(表2,2)	アイウエオ	
33	3	あいう	サンプルデータ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A1	あいうえお	
34	3	あいう	サンプルデータ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A13(コメント)	コメント:あいうえお [対象文]	
35	3	あいう	サンプルデータ	sample1.xlsx	(Sheet2)	-	A2	あいうえお	
36	3	あいう	サンプルデータ	sample1.txt	sample1	-	2	あいう	
37	3	あいう	サンプルデータ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	3,4	アイウエオ	
38	3	あいう	サンプルデータ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	3,2	あいうえお	
39	3	あいう	サンプルデータ	sample1.pptx	Rectangle 7(ID:8)	3	1	あいうえお	

「実行結果」の一例

(3)対応ファイル

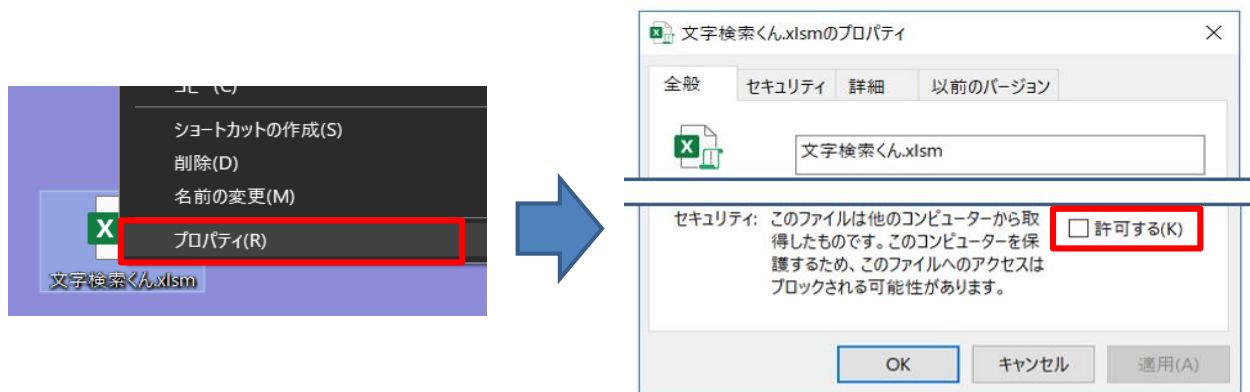
- ・Microsoft Word(*.doc*)
 - ・Microsoft Excel(*.xls*)
 - ・Microsoft PowerPoint(*.ppt*)
 - ・csvファイル(.csv)
 - ・テキストファイル(拡張子はユーザにより設定)
- (WordやPowerPointがインストールされていない場合、各アプリケーション用のファイルは検索から自動的に除外します)

(4)機能の限定

- 現在は下記のような機能に限定しています。
- ・指定したフォルダの最下層のサブフォルダまで検索します。
 - ・アクセス権のないフォルダは検索から除外します。
 - ・セキュリティ警告や読取エラーの発生したファイルは検索から除外し、除外したファイル名は「読取失敗リスト」シートに出力します。
(「読取失敗リスト」シートに記載されたもの以外は「実行結果」シートに結果が出力されます)
 - ・Excelファイルに対する検索は「値で検索」を行います。
 - ・Excelファイルに対する検索にて、保護されたシートの非表示セルは検索から除外します。
 - ・Excelファイルに対する検索にて、Excel自体にあいまい検索機能がないため、常にかたかなとひらがなは区別し検索します。
 - ・SMARTART図形内の文字検索には対応していません
 - ・Wordファイルに対する検索にて、Wordの仕様上の問題のため、Wordファイルの表が存在するページは行数の取得が数行ずれます。
 - ・ExcelのVBA自体の仕様により、実行結果シートにて32767行目以降の「パス名」「行/セル番号」へのリンクは設定できません。

(5) 初期設定：ブロックの解除

Excelの仕様により、インターネットから取得したVBAを含んだExcelファイルはブロック解除しないと使えないようになっています。
このため、文字検索くん.xlsmのプロパティ画面を開いてブロック解除を行ってください。これにより使用できるようになります。
(ファイルを右クリックして、プロパティを選択すると下記プロパティ画面になります。)



(6) 設定準備

・マクロの有効化

もしマクロがセキュリティレベルのため実行できない場合は、セキュリティレベル変更してマクロ実行を許可してください。

・デザインモードをOFF（通常はOFFになっています）

もし「検索実行」ボタンが押せない場合は、リボンに「開発」タブを表示し、デザインモードをOFFにしてください。

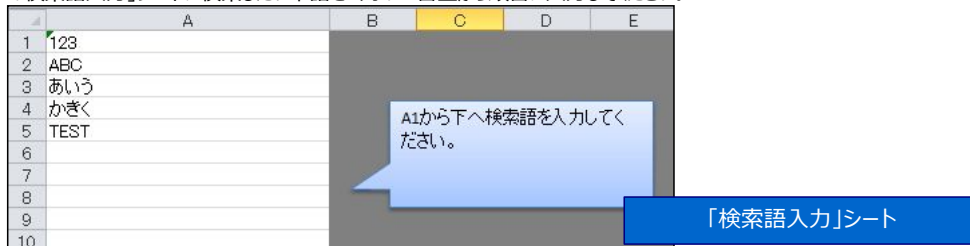
(7) 使い方

下記に使い方を記載します。

なお、検索用サンプルデータを「サンプルデータ」フォルダを用意しております。本ツールの実際の動きをそのフォルダを使ってお試しください。

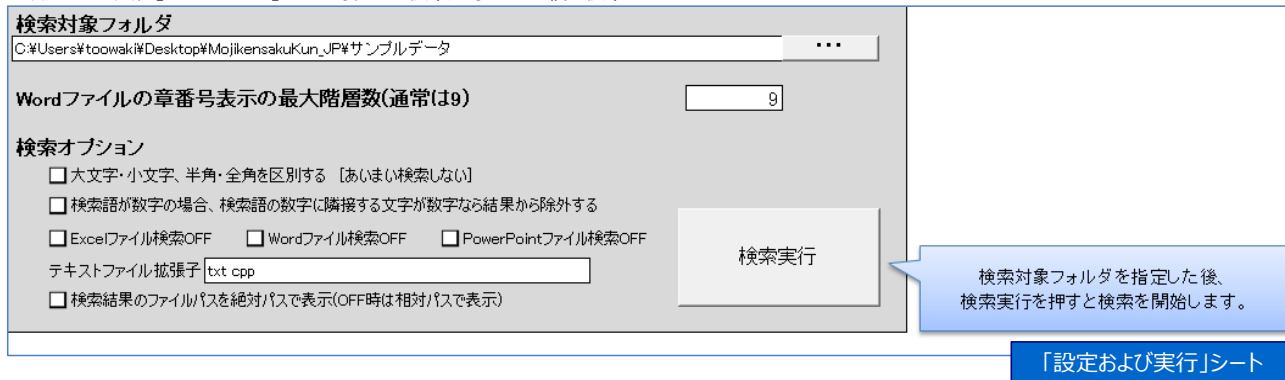
(7-1) 検索語の設定

「検索語入力」シートに検索したい単語をA列の一番上から順番に入力してください。



(7-2) 検索対象フォルダの指定

「設定および実行」シートの「...」ボタンを押して、検索対象フォルダ欄に検索したいフォルダを入力してください。



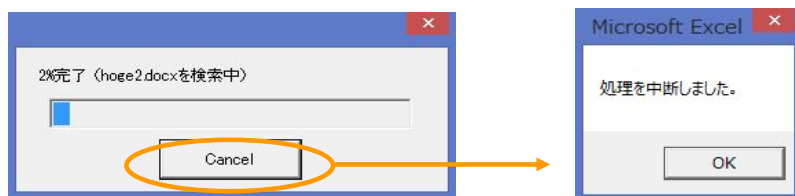
(7-3) Wordファイルの章番号表示の階層設定

通常は変更する必要はありません。

もしWordファイルの章番号の階層表示を調整したい場合は、「設定および実行」シートの「Wordファイルの章番号表示の最大階層数」の欄の数字を変更してください。通常の設定数は9です。最下層の章のみ表示したい場合は1を設定することで最下層のみ表示されます。

(7-4) 検索実行

「設定および実行」シートの検索実行ボタンを押すと検索を開始します。
検索を中断したい場合は、Cancelボタンを押してください。



(7-5) 実行結果

実行が完了すると、下記のようなメッセージボックスが表示されます。
検索結果は、「実行結果」シートに出力されます。（※「実行結果」シートは検索実行のたびに削除するので注意してください）

検索行番号	検索語	パス名	ファイル名	章番号/シート名/シェイプ名	ページ	行/セル番号	値
1	1?23	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	12	1?23
2	1?23	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	10	94512351
3	1?23	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A5	123XYZ
4	1?23	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A7	123XYZ
5	1?23	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	C4	123
6	1?23	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet2	-	C4	123
7	1?23	サンプルフォルダ	sample1.csv	sample1	-	C4	123
8	1?23	サンプルフォルダ	sample1.txt	sample1	-	2	123
9	1?23	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	2	1235
10	1?23	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	12	123
11	1?23	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Rectangle 6(ID:7)	3	1	123
12	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	13	ABC
13	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	14	abc
14	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	15	abc
15	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	9(コメント)	XYZABC [対象文]
16	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	11(コメント)	ABC(大文字・小文)
17	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	11(コメント)	ABCサブフォルダ
18	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A9(3行)	ABC
19	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A14(コメント)	12ABC3456 [対象]
20	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet2	-	B5	abc
21	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	B3	1ABCサブフォルダ
22	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.csv	sample1	-	D5	ABC
23	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.txt	sample1	-	4	ABC
24	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Title 1(ID:2)	1	1	ABC(1)
25	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Title 1(ID:2)	1	2	ABC(2)ID
26	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	SubTitle 2(ID:3)	1	1	abcDEF
27	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Comment(ID:6)	2	4,1	ABC
28	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Comment(ID:6)	2	4,1	ABC(大文字・小)
29	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Rectangle 5(ID:6)	3	1	ABCDE
30	2 ABC	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Title 1(ID:2)	1	1	ABCサブフォルダ
31	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	10(表1,1)	あいうえ
32	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.docx	6 広島	3	10(表1,2)	アイウエ
33	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A1	あいうえ
34	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet1	-	A13(コメント)	コメント:あいうえ
35	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.xlsx	Sheet2	-	A2	あいうえ
36	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.txt	sample1	-	2	あいう
37	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	2	アイウエ
38	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Table 3(ID:4)	2	3,7	あいうえ
39	3 あいう	サンプルフォルダ	sample1.pptx	Rectangle 7(ID:8)	3	1	あいうえ

下記の内容を表示します

- ・検索行番号(検索語入力シートに記載した検索語の行番号)
- ・検索語
- ・パス名 (ファイルの場所)
- ・ファイル名
- ・章/シート/シェイプ名
- ・ページ
- ・行/セル番号
- ・値(検索語のある行/セルの内容)

「実行結果」シート

(7-6) リンク先へのジャンプ

①**VBAによるジャンプ**：「実行結果」シートにて、結果をダブルクリックすると、選択されている行のファイルを開き、該当箇所へカーソルを合わせます。ただし、テキストファイルはリンク先へジャンプしません。

このジャンプ機能は、「実行結果」シートに記載されているVBAが行っています。このため実行結果シートをコピーしても動作します。

②**ハイパーリンクによるジャンプ**：VBAをコピーしたくない方のために、ハイパーリンクによるジャンプを用意しています。
青色のハイパーリンクは該当ファイルの指定箇所へリンク、赤色のハイパーリンクはファイルの先頭へリンクされています。

(8) 検索結果の値の単位

Word、PowerPoint、テキストファイル：行単位

1行に同じ検索語が複数であっても、1つしか結果には出力しません。

Excel：セル単位

1セルに同じ検索語が複数であっても、1つしか結果には出力しません

(9) 動作環境

・Excel97～2003, Excel2010, Excel2013(32bit版,64bit版), Excel2016
Excel2019(Office365 MSO(16.0.11425.20220) 32bitにて確認)

(10) 使用条件

このプログラムはフリーウェアです。著作権は、toowakiが持ちます。
転載は自由に行ってください。また、当ソフトの改ざん・変更等を行わないようお願いします。

(11) 免責

このプログラムを使用して生じた損害等につきましては、作者はいっさい関与しません。
使用者の責任で、本プログラムを使用してください。

(12) 連絡先

何かご要望等ございましたら、toowaki.fc2@gmail.comまでメールお願いします。

(13)履歴

Ver	内容	日付	編集者
0.1	新規作成	2014/08/03	toowaki
1.0	正式リリース版	2014/09/06	
2.0	Web上に公開	2015/04/19	
3.0	・PowerPointのファイルに対応 ・テキストファイルに対応 ・実行結果シートのマクロを修正 ・「使い方」シートにExcel2007で使用できない図形を使用していたため図形を修正	2015/04/30	
3.1	・Excelファイルの検索結果がセルの位置に関して昇順に並ぶようにした	2015/05/13	
3.2	・検索語にアスタリスクを使用できるようにした	2015/05/17	
3.3	・Wordファイルのコメント検索、PowerPointファイルのコメント検索に対応	2015/05/23	
3.4	・実行前から開いているPowerPointファイルを閉じてしまっていたため、閉じないように修正しました。	2015/12/12	
3.5	・Object Libraryの参照をできる限りなくしました。これにより、Object Libraryがない場合に実行できない人も使えるようになります。	2016/07/26	
3.6	・環境によってExcelの結合セルが検索対象とならないことが判明し、Findに「SearchOrder:=xlByRows」を追加し、対応しました。	2016/11/16	
3.7	・Office2016に対応しました	2017/09/24	
3.8	・ExcelのFind関数にあいまい検索の機能選択がないにも関わらず、「かんたん」という検索ワードに対して、「簡単」という漢字がヒットすることがあり、これを抑止するために、チェックボックス「大文字・小文字、半角・全角を区別する [あいまい検索しない]」をONした際にヒットしないように修正しました。	2018/06/09	
3.9	・Excelファイルの検索をOFFする機能が欲しいとの要望がありましたので、Excelファイル検索OFFのチェックボックスを追加しました。	2019/3/11	
3.10	・ネットワーク上のフォルダを指定し、"/"で区切られている場合に対応できていなかったため、対応しました。	2019/5/8	
3.11	・検索結果のパス名の相対アドレス表示/絶対アドレス表示の選択機能を追加しました。	2019/5/11	
3.12	・検索ヒット数が32767以上の場合に32767目以降の結果を表示できていなかったため、修正しました。 ・実行結果シートの値(列H)の先頭文字がシングルコーテーション「'」の場合に、シングルコーテーションが表示されるように修正しました。	2019/9/14	
3.13	・ファイルバスの大文字小文字を区別せずに相対パスを生成するようにしました。	2019/9/22	
3.14	・セーフモードとして「検索実行時の画面更新をON」「エラー 0xc0000005対策をOFF」設定を追加しました。 (デフォルト設定はどちらもチェックOFFを推奨。画面更新をOFFにすることでExcelファイルの検索速度は2倍になります)	2019/9/29	
3.15	・セーフモードをなくし、常に下記 2 点の動作をするようにしました。 - Excelおよびテキストファイルに対しては検索実行時の画面更新を常に停止 - Excelにおけるエラー 0xc0000005対策は常に実行	2019/11/9	
3.16	「実行結果」シートのExcelファイルへのリンク(G列)が無効になっており、開けなくなっていたため修正しました。	2020/5/27	
3.17	Power Pointファイルにて、グループ化されたのシェイプに対して文字検索できていなかったため、図形がグループ化されたシェイプに対しても文字検索するようにしました。	2021/1/27	
3.18	ネットワークドライブに割り当てられていないネットワーク上のファイル検索に対応しました。	2022/2/11	
3.19	文字コードがUTF8のテキストファイルに対する2Byte文字を検索した場合に検索ヒットしなかったため、修正しました。	2022/10/9	